

2022年度 第1回町田市産業振興計画推進委員会
議事要旨

(資料2)

日時 2022年8月2日(火) 15時～16時

場所 Webex meeting によるリモート開催
(大久保委員長、小山委員、事務局 町田市庁舎3階 「第1委員会室」)

出席者

大久保 英敏	委員 (委員長)	玉川大学 名誉教授 博士 (工学)
多田 和美	委員 (副委員長)	法政大学社会学部社会政策科学科 准教授
佐藤 正志	委員	町田商工会議所 専務理事
伊藤 亨	委員	株式会社町田新産業創造センター 専務取締役
菅野 英昭	委員	多摩高度化事業協同組合 事務局長
太細 貞治	委員	町田市経営診断協会 理事長
有田 哲二	委員	株式会社日本政策金融公庫 八王子支店長
小山 克己	委員	株式会社三和 顧問
長谷部 信樹	委員	株式会社キープ・ウィルダイニング 執行役員 経営企画室 室長
杉森 俊彦	委員	小田急電鉄株式会社 まちづくり事業本部エリア事業創造部 課長

欠席者

君波 英保 委員 町田公共職業安定所 次長

事務局

町田市経済観光部長 堀場 淳
町田市経済観光部産業政策課長 村上 和久
町田市経済観光部産業政策課担当係長 朽木 雄介
町田市経済観光部産業政策課主任 五十嵐 貴哉
町田市経済観光部産業政策課主事 遠藤 菜都乃

傍聴者

なし

次第

- 1 開会
- 2 委嘱書の交付について
- 3 報告(1) 2021年度 第2回委員会の議事要旨
- 4 議題
 - (1) 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画の2021年度の取り組み結果について
 - (2) 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画の2022年度の取り組みについて
- 5 その他

配布資料

- 資料1 委員名簿
- 資料2 2021年度 第2回町田市産業振興計画推進委員会 議事要旨
- 資料3 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画 2021年度取り組み結果
- 資料4 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画2022年度取り組み
- 資料5 町田市産業実態調査について
- 資料6 冊子「町田駅周辺公共施設再編構想」

議事録

1 開会

2 委嘱書の交付について
杉森委員が挨拶を行った。

3 報告(1) 2021年度 第2回委員会の議事要旨

4 議題

(1) 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画の2021年度の取り組み結果について

<1、「立ち上げる」チャレンジ>

■多田副委員長

評価「△」となっているマッチングイベントの実施回数について、オンライン開催となったことについての評価なのか、オンライン開催にした結果人数が集まらなかったことについての評価なのか。

■事務局

評価の凡例に基づいて「△」としている。「◎」は目標に対して110%以上、「○」は目標に対して90-110%、「△」は90%以下となる。マッチングイベントの実施回数については、目標2回に対して、1回の実施であったため、「△」としている。

■大久保委員長

ビジコン交流会は、前回の委員会同様に2月に開催しており、まん延防止の時期にあたっている。感染症の影響が収まるまで延期するなど、柔軟な対応を検討してほしい。

■伊藤委員

マッチングイベントについては、オンラインでは人数が増えると参加者同士のコミュニケーションが取りづらく、開催が難しくなっている。少人数で複数回行う等、開催方法を検討したい。

■大久保委員長

学会の講演会等は、オンラインであるが大人数で行っている。ハイブリットでの開催など、ぜひ検討してほしい。

<2、「拡げる」チャレンジ>

■菅野委員

項番19 ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数について、推薦状を出したのは、いつの話で、何の商品か。

■事務局

2021年度の実施である。商品については、「kicoeri（きこえり）」と『「家に猫がいます」グッズ』です。

<3、「つなぐ」チャレンジ>

■太細委員

項番42 ネットワークによる市内事業者の事業承継マッチング件数について、具体的な成果はあるのか。

■事務局

具体的な成果として、市内で事業承継が完了した件数を示している。

<4、ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり>

■多田副委員長

項番43 働き方に関するセミナー等の実施回数について、開催数は目標通りに進んでいるが、参加者数や参加者の増加率等、具体的な成果はあがっているのか。

■事務局

東京都との共催事業であり、育休パパ・ママの職場復帰セミナーは新規の取り組みとなっているため、増加率等の把握はできないが、シニア生涯ワーキングセミナーは拡充した取り組みであり、人数が増加している。

■佐藤委員

項番49 企業等立地件数について、事業者の規模と業種は。立地場所はどの辺りか。

■事務局

規模は中堅企業で、電子工業の企業となっている。場所は町田の南エリアになる。

(2) 「町田市産業振興計画19-28」前期実行計画の2022年度の取り組みについて

<1、「立ち上げる」チャレンジ>

■長谷部委員

まちだキッズアントレプレナープログラムの年齢層や人数など具体的な内容は。

■伊藤委員

まちだキッズアントレプレナープログラムについては、2021年度まではIT教室、マネー教室、発明教室、起業塾を実施しており、15-20名を対象にしている。2022年度は、IT教室、マネー教室、発明教室を小学5-6年生対象に実施している。7月31日にIT教室を実施しており、午前午後で15名ずつ、対面で行った。マネー教室は、午前午後で20名ずつ、オンラインで実施予定である。発明教室は、対面の予定であったが、オンラインに変更する予定である。こちらも人数は20名。その他に、2022年度は若者創業スクールを開催している。こちらは上期下期で2回実施予定で、対象は16-25歳としている。周知に苦戦することもあったが、多田副委員長のご協力もあり、定員20名に対して、25名の申込みがあった。すでに、上期のスクールは始まっており、進捗は順調である。

<2、「拡げる」チャレンジ>

■菅野委員

項番25 交流会の開催回数について、南西フォーラムが検討中となっているが、先日第1回

の実行委員会が開催され、今年度の実施が決まった。日時は、11月8日（火）16時から、青山学院大学の相模原キャンパスで実施する。詳細が決まり次第、ご案内する。

■大久保委員長

町田市トライアル発注認定制度について、2022年度で認定件数の累計が50件を超え、節目となる。記念事業等を実施すべきだと思いが、どうか。

■事務局

前向きに検討する。

<3、「つなぐ」チャレンジ>

■太細委員

2021年度の取り組みで「△」だったのが、項番28と30である。今年度の進捗状況は、「△」を挽回できるような状況なのか。

■事務局

項番30について、今年度は1件申請を受けている。

■太細委員

かなり厳しい状況のため、何か手を打った方が良いと思う。

■大久保委員長

広報まちだはどのように配布されているのか。

■事務局

駅やコンビニ、新聞折込、HP等で閲覧可能である。

■大久保委員長

web会員制度やメール配信等、様々な広報手段を考えてみても良いと思う。

<4、ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり>

■長谷部委員

コワーキングスペースを利用している層が起業・創業者から、テレワークの方に変化してきていると感じている。今度テレワークでの働き方などの支援に、どのように力を入れていくのか。

■事務局

需要等を把握するため、産業実態調査にそのような項目も盛り込んでいきたい。

■小山委員

選ばれるまちとして魅力を高める、賑わいを生み出す等あるが、町田市として将来的にどんなまちにしたいのか、ビジョンがあれば伺いたい。

■事務局

市の基本構想・基本計画となる「まちだ未来づくりビジョン2040」を策定し、2022年度から取り組んでいる。

■大久保委員長

「まちだ未来づくりビジョン2040」の冊子を配ってほしい、次回それを確認しながら議論を行いたい。

■小山委員

市の強みを明確にすると、それに沿った業種の構成等も見えてくる。そのような側面を念頭に置いて、産業振興計画の進捗を確認していくのが良いのではないか。

■事務局

「まちだ未来づくりビジョン2040」を配布し、なりたいまちの姿の基本的な姿、実行中の施策を説明する。ビジョンの実現に向けて、産業振興計画を推進していく。

■大久保委員長

委員会として、計画推進を確認するものであるが、目標値だけでなく、ビジョンに基づいた計画推進を図っていききたい。

■長谷部委員

目標達成に向けて、取り組みの優先順位、強弱が資料③④の表においてみれるといい。

■大久保委員長

本日の会議は1時間と短いため、会議が終わった後でも、事務局にご意見やアドバイスなど連絡してほしい。

事務局から資料⑤⑥の説明を行った。

5 その他

事務局から事務連絡を行った。